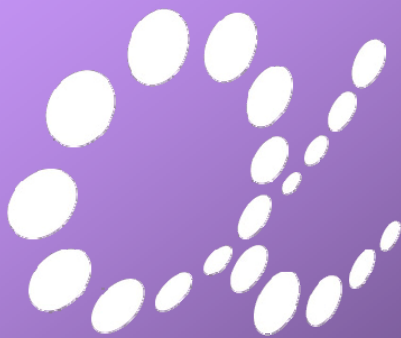


第3期 第2四半期決算説明会

アルファホールディングス株式会社



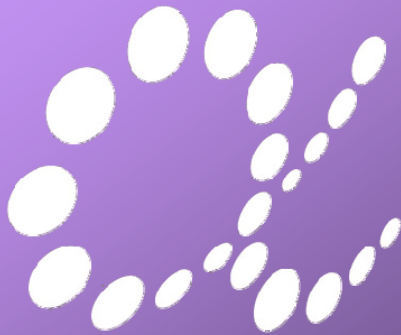
2009年9月2日



目次

1. グループ概要
2. 第3期 第2四半期連結業績
3. 第3期 下半期の取り組み
4. 2010年以降の経営体制について
5. 参考資料: マーケット概況

グループ概要



会社概要

(2009年6月末現在)

商号	アルファホールディングス株式会社 (JASDAQ 6633) 以下「αHD」と表現		
事業内容	金型製造用CAD/CAMシステム事業および金型製造事業を営む傘下子会社からなるグループの経営管理ならびにそれに付帯する業務		
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿一丁目19番15号		
設立年月日	2007年7月2日	決算期	12月末日
資本金	5億円	発行済株式総数	(普通株式) 11,982,579株
純資産	31億61百万円	総資産	54億57百万円
主要株主	株式会社アーク、株式会社エムワイ企画、山口修司、日本生命相互会社、アルファホールディングス従業員持株会、株式会社トール社、竹田和平、柏木雅浩、西日本シティ銀行、兼松ケージーケイ		
役員構成	代表取締役会長	山口 修司	(CE 代表取締役社長)
	代表取締役社長	西野 直之	(GP 代表取締役社長)
	取締役	塩田 聖一	(CE 専務取締役)
	取締役	寺崎 和彦	(GP 取締役)
	取締役	九鬼 祐一郎	(ARRK 常務取締役)
	常勤監査役	佐藤 淳	(GP 監査役)
	常勤監査役(社外)	山田 英雄	
	監査役(社外)	笹長 正	(ARRK 常勤監査役)



主要2社の概要 (GP子会社は除く)

商号	コンピュータエンジニアリング株式会社 以下「CE」と表現	株式会社グラフィックプロダクツ 以下「GP」と表現
事業内容	FA分野における ソフトウェア・ハードウェアの開発・販売	金型設計製造システムの開発・販売・サポート
設立年月日	1978年11月	1981年2月
本店所在地	福岡県北九州市八幡西区引野一丁目5番15号	東京都渋谷区恵比寿一丁目19番15号
代表者	代表取締役社長 山口 修司	代表取締役社長 西野 直之
従業員数	120人 (2009年6月末現在)	122人 (2009年6月末現在、単体)
主要顧客セグメント	プレス金型メーカー	モールド金型メーカー
国内ユーザー数	3,500社	2,600社
モデルデータ構造	2次元	3次元
対象工程	設計(CAD)	加工(CAM)

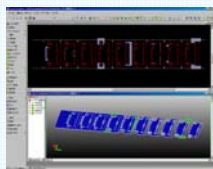
5



CE製品

EXCESS HYBRID

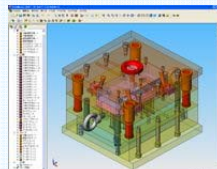
金型用2次元・3次元融合
CAD/CAMシステム



金型業界の2次元スタンダードであるエクスシリーズの「優れた操作性」と「高度な専門性」に、「3次元の視認性」を取り入れた、ハイブリッドモデルの2次元・3次元融合型CAD/CAMシステム。

NEO SOLID

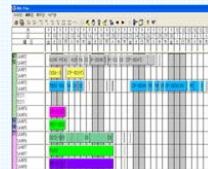
金型用3次元統合
CAD/CAMシステム



「SolidWorks」に金型専用モジュールを組み込むことにより、金型立体設計～図面作成、さらに立体モデル～NCデータ作成までを完全フォローするオールインワンモデルの3次元統合型CAD/CAMシステム。

A|Q

金型用
工程管理システム



CADの設計情報と工程計画を連携させることにより、計画立案、実績収集、原価計算までをフォローし、進捗と実績の「見える化」を推進する、CAD/CAM連携型の金型用工程管理システム。

6



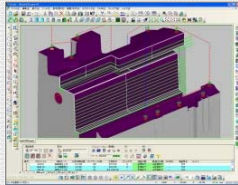
GP製品

CAM-TOOL

CAD/CAM System for Molds & Dies

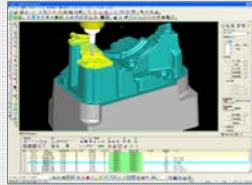
穴加工／2.5軸加工

指示された曲面から2軸加工部分の断面をシステムが自動認識、2軸輪郭図形を抽出。部品加工等で利用されるポケット加工・穴加工用の機能が充実しています。オペレーションの簡略化を実現し、加工データ作成のリードタイムを短縮します。



3軸加工

高度なサーフェスマデリング機能を持ち、初心者から熟練者まで幅広い層のオペレータのニーズに応えるハイエンドCAD/CAMシステム。多彩な加工モードを搭載し、高硬度材への高速直彫りをはじめ、様々な加工において高品位かつ高効率な切削を実現します。

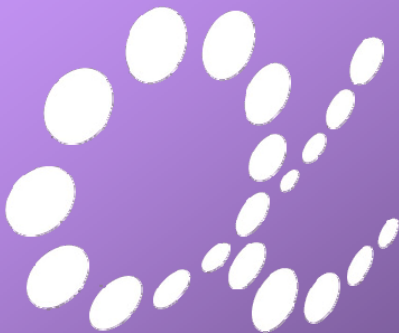


5軸加工

当社独自のアルゴリズムによる先行制御を施し滑らかな動作を実現。「同時3軸加工パス」の持つ高精度を同時5軸加工においても発揮。5軸加工の特有スキルを必要とせず、5軸制御マシンングセンタの性能を最大限に引き出します。



第3期 第2四半期連結業績





第3期 第2四半期累計期間 トピックス(CE)

研究開発関連

✓計測機能付き研削システムの共同開発

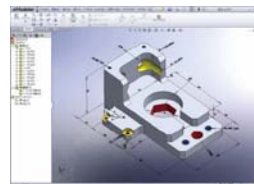
(参考URL:<http://www.pref.fukuoka.jp/f17/kensaku-system.htm>)

- 経済産業省「地域イノベーション創出研究開発事業」の一環。ハイブリッドのモーターコア生産向け研削加工システムを開発。CE社はCAM分野を担当。
- 金型分野における研削加工部門の熟練工不足を補い、省力化、省人化、高品質化の実現をめざす。

✓NeoSolid.eModelerの開発、リリース(7月)

- 2次元での運用形態や図面資産を維持活用し、2D/3Dの利点を最大限に生かした新たな設計連動手法を採用することで、より快適な設計環境を実現。
- 顧客の用途に合わせた様々なシステム構成を可能。

NEO SOLID
eModeler



9



第3期 第2四半期累計期間 トピックス(GP)

主な拡販活動

- ✓製品名を「CAM-TOOL」に統一、
「INTERMOLD 2009(東京)」(4月)にて公表

研究開発関連

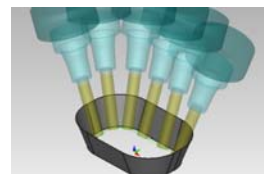
✓「CAM-TOOL」の新バージョン「Version5」をリリース(6月)

- ポリゴンエンジンによる加工モードを追加し
大物加工への対応を強化
- 同時5軸では高品位な仕上がり面となる
スワーフ加工、アンダーカット切削の機能を追加
- 外部システムとのインターフェイス強化

CAM-TOOL
CAD/CAM System for Molds & Dies



INTERMOLD2009ブース



スワーフ加工 GUI

10



第3期 第2四半期累計期間 決算概要

- 2008年末に発売したCAD/CAM製品の新機能開発、展示会等のイベントを通じた拡販活動を実施。
- しかし、顧客企業による設備投資の中止や見送りが予想以上に発生し、その結果当社グループの売上に大きく影響。
- 一方で人件費等の経費節減に取り組み、収益の向上に努めました。しかし、売上の大幅な落ち込みをカバーするには至らず。
- これらの結果、売上高13億49百万円、営業損失3億2百万円、経常損失2億89百万円、純損失2億63百万円と、大幅な減収減益となった。

11



連結損益計算書(対2/23予想比)

(単位:百万円)

科目	2009年 第2四半期 決算 実績	2009年 2/23 発表 予想	対2/23予想比		対2/23予想比 主な内訳
			増減額	増減率	
売上高	1,349	1,938	△589	△30.4%	CAD/CAMシステム販売の 予想以上の落ち込みにより減収
売上原価	403	571	△168	△29.4%	減収に伴う売上原価減少△168
販管費	1,247	1,357	△109	△8.1%	人件費、賃料、開発外注等のさらなる抑制 により△109
営業利益	△302	9	△311	—	減収の影響により大幅減
経常利益	△289	18	△307	—	減収の影響により大幅減
当期純利益	△263	4	△268	—	減収の影響により大幅減 その他:特別利益(賞与引当金戻入)+23

12



連結損益計算書(対前年同期比)

(単位:百万円)

科目	2009年 第2四半期 決算 実績	2008年 第2四半期 決算 実績	対前年同期比		対前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
売上高	1,349	2,347	△998	△42.5%	Q4のCAD/CAMシステム販売の落ち込みにより減収
売上原価	403	665	△262	△39.4%	減収に伴う原価の減少△262
販管費	1,247	1,489	△241	△16.2%	人件費、賃料、開発外注等の抑制、およびのれん償却額の減少により△241
営業利益	△302	192	△494	—	減収の影響により大幅減
経常利益	△289	194	△483	—	減収の影響により大幅減
当期純利益	△263	166	△430	—	減収の影響により大幅減 その他:特別利益(賞与引当金戻入)+23

13



連結セグメント売上 (会社所在地別)

(単位:百万円)

科目	2009年 第2四半期 決算 実績	2008年 第2四半期 決算 実績	対前年同期比		対前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
CAD/CAM事業	1,169	2,110	△941	△44.6%	
国内(CE、GP)	1,095	2,002	△907	△45.3%	国内CAD/CAMシステム販売において、顧客の買い控え、設備投資延期等が影響し業績不振、△907
北米(GP CANADA)	32	39	△6	△16.5%	ドル建てで前期比+6%となるも、為替の影響により円建てでは△16.5%
アジア(GP ASIA)	40	68	△27	△40.1%	東南アジア地域の市況悪化に伴い売上減、△27
金型製造事業	179	237	△57	△24.2%	
北米(Tritech LLC)	179	237	△57	△24.2%	市況の悪化、並びに為替の影響により円建てで売上減△92
合計	1,349	2,347	△998	△42.5%	

※売上高は、内部取引等相殺後の数値を合計しております。

14



連結セグメント営業利益（会社所在地別）

（単位：百万円）

科目	2009年 第2四半期 決算 実績	2008年 第2四半期 決算 実績	対前年同期比		対前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
CAD/CAM事業	△322	193	△516	—	
国内（CE、GP）	△319	190	△509	—	販管費を抑制するも売上の落ち込みをカバーできず、△509
北米（GP CANADA）	△1	△4	+3	—	売上若干増により+3で、赤字幅縮小
アジア（GP ASIA）	△2	7	△10	—	売上減少の影響大きく△10
金型製造事業	25	11	+14	+133.5%	
国内（つくし、TriTech）		0	△0	—	
北米（Tritech LLC）	25	10	+15	+139.8%	人件費等、経費削減の効果大きく+15
〔内部取引およびのれん償却〕	△5	△12	+6		
合計	△302	192	△494		

※営業利益は、内部取引等相殺前の数値であり、（内部取引およびのれん償却）の行ですべて調整しております。

15



連結セグメント売上（仕向地別）

（単位：百万円）

科目	2009年 第2四半期 決算 実績	2008年 第2四半期 決算 実績	対前年同期比		対前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
CAD/CAM事業	1,169	2,110	△941	△44.6%	
国内	1,036	1,862	△825	△44.3%	国内CAD/CAMシステム販売の業績不振により△825
北米	33	40	△6	△16.2%	GP CANADAの売上が円建てで若干減となり、△6
アジア	97	203	△105	△52.0%	GPNA△27、GP△16、CE△61
その他	0	4	△3	△80.2%	
金型製造事業	179	237	△57	△24.2%	
北米	179	237	△57	△24.2%	ドル建てでは売上増ながら、為替の影響により円建てで売上減△92
売上高合計	1,349	2,347	△998	△42.5%	

※売上高は、内部取引等相殺後の数値を合計しております。

16



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2009年 第2四半期 決算 実績	2008年 決算 実績	前期末比 増減額	対前期末比 主な増減内訳
流動資産	3,692	3,953	△261	受取手形及び売掛金△266、繰延税金資産△25
固定資産	1,765	1,715	+50	敷金及び保証金△10、投資不動産△7、繰延税金資産+39、保険積立金+36
資産合計	5,457	5,668	△211	
流動負債	1,344	1,529	△185	未払金△39、短期借入金△16、前受金△50、預り金△30
固定負債	951	673	+278	長期借入金+246、退職給付引当金+23
負債合計	2,296	2,202	+93	
株主資本	3,132	3,454	△321	四半期純損失△263、配当金の支払△57
評価・換算差額等	△11	△21	+9	
少数株主持分	41	32	+8	
純資産合計	3,161	3,465	△304	
負債純資産合計	5,457	5,668	△211	

17



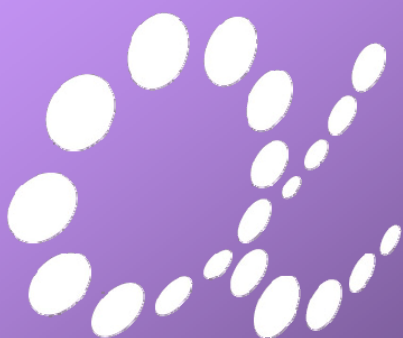
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2009年 第2四半期 実績	2008年 第2四半期 実績	対前年 増減額	2009年通期 主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	△48	101	△149	税金等調整前当期純利益△257、 減価償却費36、売上債権の減少額270、 前受金の減少額△51
投資活動による キャッシュ・フロー	△41	△134	+99	定期預金の預入による支出△163、 定期預金の払戻による収入158、 敷金及び保証金の回収による収入12、 保険積立金の積立による支出△36
財務活動による キャッシュ・フロー	162	△151	+314	短期借入金の純減額△50、 長期借入による収入400、 長期借入金の返済による支出△119、 配当金の支払額△57
現金及び現金同等物に係る 換算差額	8	△22	+24	
現金及び 現金同等物の増減	81	△205	+287	
現金及び 現金同等物の期首残高	2,929	2,232	+696	
現金及び 現金同等物の期末残高	3,011	2,026	+984	

18

第3期 下半期の見込みと取り組み



第3期の取り組み<1>

営業政策



景気回復時に向けた足固めと保守による安定売上の確保

顧客密着型の営業展開(CE社/GP社)

- 比較的小規模な製品紹介セミナーをCE社/GP社共催で各地にて開催。

保守契約率の向上のための施策(GP社)

- CAM-TOOL無償バージョンアップセミナーを各地で月5回以上開催。
当社技術員指導のもと、新機能を使った加工方法例を紹介。



第3期の取り組み<2>

研究開発関連



従来製品開発の強化と新規事業への着手

「金型全体最適化ソリューション」事業の推進(CE社)

•CAD/CAM工程以降、生産の後工程(加工、組立、トライ等)で3Dデータを有効活用できるソリューションの開発を進める。

生産財メーカーとの開発協力(GP社)

•5軸関連:

5軸加工に必要な機械情報やポストプロセッサ情報の共有を目的とした、工作機械メーカーとの連携を一段と強化。

•工具データベース関連:

CAM-TOOL Version5アップデート版にて国内工具メーカー5社の工具カタログをシステムに登録する機能を搭載予定。CAM演算時に工具形状を忠実に再現し、安全で効率の良いNCデータの作成を支援する。

21



第3期 通期業績予想について

通期業績予想について

- 先行き不透明ではあるものの、連結・個別共に現時点での業績予想を見送り、前回予想のままとさせていただきます。
- 第3四半期の状況を見極め、見通しがつき次第公表の予定。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2009年第2四半期 実績 (2009年8月3日発表)	1,349	△302	△289	△263
前回の通期業績予想 (2009年2月23日発表)	3,900	26	46	25
前期実績 (2008年12月期通期)	4,132	△8	△11	△503

22



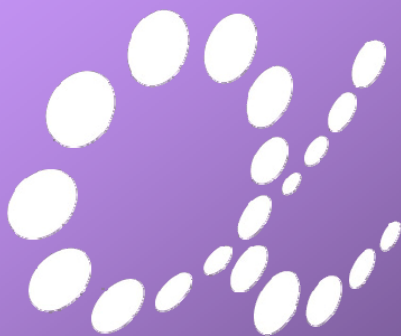
第3期 配当予想について

第2四半期配当の見送りおよび第4四半期配当について

- 期末配当予想についても、業績予想の修正と同様、前回予想のままとさせていただきます。
- 第3四半期の状況を見極め、見通しがつき次第公表の予定。

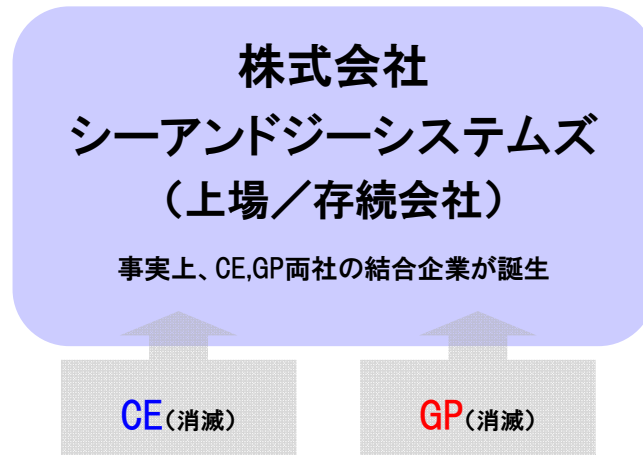
	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
前回予想 (2009年2月23日発表)	—	円 銭 5. 00	円 銭 —	円 銭 5. 00	円 銭 10. 00
今回修正 (2009年8月3日発表)	—	0. 00	—	5. 00	5. 00
(ご参考) 前期実績(2008年12月期)	—	5. 00	—	5. 00	10. 00

2010年以降の経営体制について





αHDによる吸収合併により1つの会社に



25



新体制での商号

商号 株式会社シーアンドジーシステムズ
(略称:C&Gシステムズ)

由来

- 「CE」と「GP」の結合体であること
- 「Creative」と「Global」の頭文字

Creative:モノづくり分野に対し付加価値を創造
Global:世界企業へ挑戦

26



合併の背景

2社の経営統合を決定 (2007年2月)

•「互いの企業文化を尊重し独立性を維持すること」が企業価値の最大化に資すると判断



不採算グループ会社の減損処理 : 2期連続当期純損失を計上

事業環境の変化 : 世界同時不況等の影響から、売上が大幅減

2社の合併を決定 (2009年9月)

•事業環境の変化に対応するため、商品開発の効率化やコスト削減が急務。
•合併することで、強固なグループ統制を敷くと共に、物理的な統合と両社の技術力の融合を推進

27



合併の目的と意義

「成長戦略」と「企業体質の強化」

1) 業界シェアの回復と伸長

業界シェア20%台から30%台へ成長

※1% = 売上高2億円に相当

2) 経営資源の集中による経営効率化

① 商品ラインナップの一元化

② 業務プロセスの改善(リエンジニアリング)

28

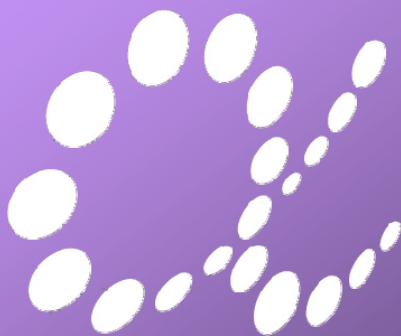


合併スケジュールと役員人事

スケジュール: 臨時株主総会開催日 2009年10月30日(予定)
効力発生日 2010年1月1日(予定)

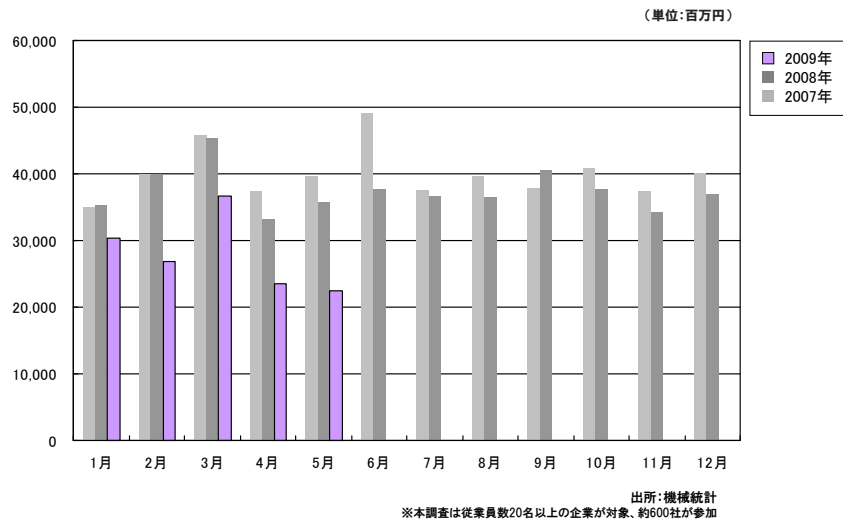
役員人事:	代表取締役社長	山口修司	(現CE 代表取締役社長)
	代表取締役副社長	西野直之	(現GP 代表取締役社長)
	取締役	塩田聖一	(現CE 専務取締役)
	取締役	寺崎和彦	(現GP 取締役)
	取締役	九鬼祐一郎	(現ARRK 常務取締役)
	常勤監査役	佐藤淳	(現GP 監査役)
	常勤監査役	山田英雄	
	非常勤監査役	笠長正	(現ARRK 常勤監査役)

参考資料:マーケット概況





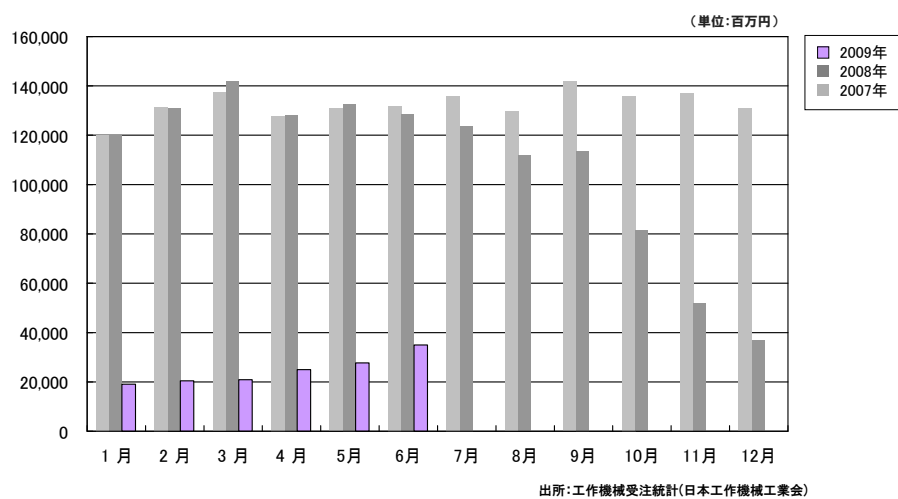
国内金型生産額



31



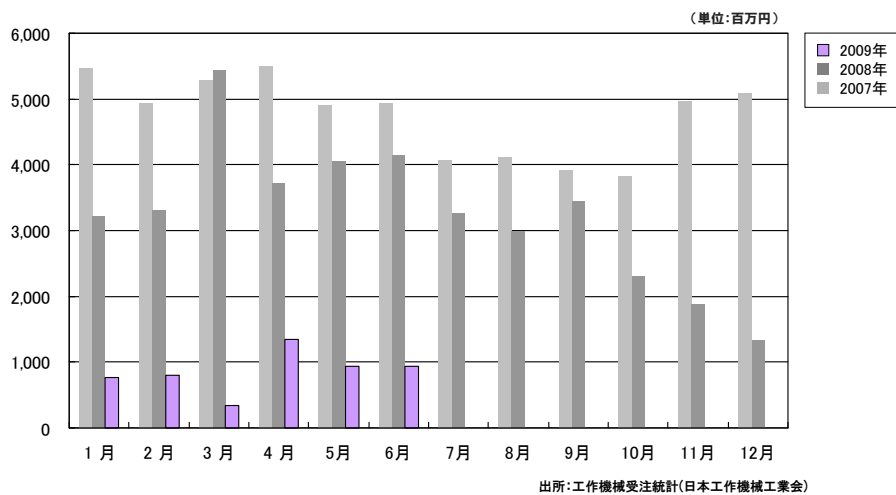
工作機械受注統計(日本メーカー)



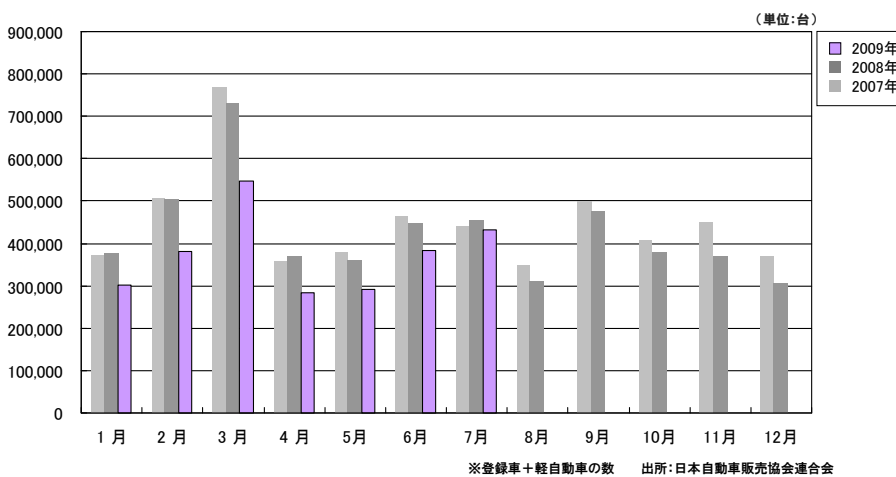
32



工作機械受注統計[金型向け](日本メーカー)



国内新車販売台数





金型設計用CAD/CAMメーカー別集計

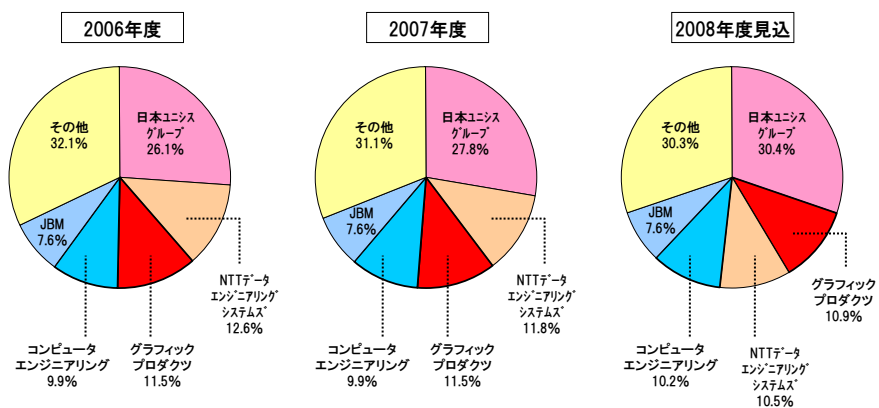
システムメーカー名	2006年度	2007年度	前年比	2008年度見込	前年比
日本ユニシスグループ	4,037	4,400	109%	5,280	120%
NTTデータ エンジニアリングシステムズ	1,950	1,860	95%	1,820	98%
グラフィックプロダクツ	1,780	1,825	103%	1,900	104%
コンピュータエンジニアリング	1,529	1,560	102%	1,770	113%
JBM	1,200	1,250	104%	1,350	108%
セイロジャパン	790	810	103%	820	101%
丸紅情報システムズ	800	750	94%	800	107%
ヴェロ・ジャパン	700	740	106%	790	107%
三菱電機 マイクロシステムウェア	621	613	99%	654	107%
セスクワ	580	530	91%	480	91%
ゼネテック	400	410	103%	430	105%
OpenMind	310	400	129%	500	125%
Delcam	380	350	92%	350	100%
トヨタケーラム	232	211	95%	360	163%
アルゴグラフィックス	140	100	71%	80	80%
合計	15,449	15,819	102%	17,384	110%

※ハードウェア売上を含まず 出所:矢野経済研究所

35



金型設計用メーカー別シェア



※ハードウェア売上を含まず 出所:矢野経済研究所

36



本資料に記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、
その正確性を保証するものではありません。

また本資料は、2009年9月2日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(お問合せ先)

アルファホールディングス株式会社

広報室

Tel : 03-5793-8800

E-mail : alpha-koho@alpha-holdings.co.jp